

RUBeC 演習を終えて

池 上 友 翼

Yusuke IKEGAMI

機械システム工学専攻修士課程 2年

1. はじめに

私は、2023年8月20日から9月4日の期間にアメリカ・バークレーにおいて「RUBeC 演習」に参加した。この科目では、英語によるテクニカルライティングとプレゼンテーションの学習、バークレー近郊の大学やワイナリーを訪問した。これらの活動内容について報告する。

2. 参加目的

私がこのプログラムに参加した理由は2つある。一つ目は、現時点での自身の英語能力を試すとともに、英語能力を向上させるためである。二つ目は、海外での生活や文化を通して新たな知見を得るためである。

3. 授業内容

最終的に英語で自身の研究内容をプレゼンできるようになることを目標に授業が行われた。

3.1 テクニカルライティング

授業はバークレー内にある LSI (Language studied International) という語学学校で行われた。初日にテストを受け、その後三日間は文法の指導の授業が行われた。授業時間は午前9時10分から10時50分と11時10分から12時50分の二コマであった。授業ごとに資料や教科書が配布され、1時間目は主に文法がメインであり、2時間目は主にスピーキングとリスニングメインであった。授業方式としては、問題を解き受講者が順番に回答して行く方式であったが、先生による一方的な授業ではなく生徒と先生が対話をしながら授業を進めていくといった形であった。受講者は日本人が9人で日本人以外の方

が4人受講していた。また、授業の範囲は関係代名詞、関係副詞であった。

3.2 プレゼンテーション

滞在1週目の金曜から最終日前日までの5日間はプレゼンテーションに関する授業であり、最終日にはプレゼン発表を行った。プレゼンテーションに関する授業では、良いプレゼンをするためのポイント(ユーモアを入れる、強弱をつけて話す、ジェスチャーを使う等)の説明を受け、毎回一人当たり20分間先生に対面で指導していただける時間が与えられた。何を指導していただくかは自分で決めることができ、私はスライドおよび原稿の添削、発音、アクセント、読み方の指導を受けた。また、最終日の発表は一人当たり5分の時間が与えられて発表後に先生から一つ質問を受けるという方式であった。さらに、発表後は一人ずつフィードバックを受けた。



図1 プレゼンテーションの様子

3.3 大学・ワイナリー視察

学外学習としてカリフォルニア大学バークレー校と DONKEY&GOAT というワイナリーの視察を行った。大学視察では、語学学校の先生が図書館やセイザータワーと呼ばれる塔などの学内の施設を案内してくださった。キャンパスは広大で学生たちが学び、研究するうえで素晴らしい環境であることが分かった。学校内や周辺には大学の名前が書いたグッズ売り場や店が多く並んでいた。また、様々な国籍

の学生が在籍している印象を覚えた。



図2 UC バークレーでの集合写真

ワイナリーは語各学校からバスで25分ほどの場所にあり、数種類のワインのテイスティングを楽しむことができた。ワイン好きは是非訪れるべきだと感じた。また、ワインの説明を受けテイスティングをした後に気に入ったものは購入可能できるという仕組みであった。

4. 海外での生活について

滞在期間の2週間は現地のホストファミリーのもとでホームステイ生活を送った。ホストファミリーとは英語で会話をした。会話の際に、発音の重要性は感じたが、文法が正確でなくてもジェスチャーをうまく使いながら何とかコミュニケーションをとる

ことができた。どうしてもうまく伝わらない場面では、翻訳機を利用することもあった。また、スーパーでの買い物や昼食を注文することに対して最初は緊張したが、徐々になれていった。日本との違いとして店員が「How are you」「where did you come from?」の様に積極的に話しかけてくることに非常に驚いた。さらに、店員に対するチップ文化は初めての経験であり、自分でチップの額を決めることができるという経験は非常に興味深いものであった。

5. おわりに

2週間という短い期間であったがRUBEC演習を通して英語の能力向上につながったと思う。特に現地の人たちと実際に英語で会話をし、実践的な経験を積むことができたということは英語能力の向上させるという点で非常に大きな一歩であると感じている。さらに、この演習を通して、英語を勉強することに対するモチベーションが非常に高まった。今後も積極的に英語の勉強を続けていこうと思う。さらに、新たに学んだことや発見したことも多くあり、非常に充実した2週間になったと感じている。この経験を大切にして今後の学びや人生に活かしていこうと思う。